

第 13 回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

- ・リニア工事による影響調査の情報や住民意見などを共有し、リニア工事全般に関わる事項について連絡調整を行うことを目的に、ＪＲ東海、施工業者、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」が 9 月 30 日に交流センターに於いて、関係者 53 名が出席し開催されました。その概要をお知らせします。

① (主) 松川インター大鹿線改良工事について

事業概要

○主要地方道松川インター大鹿線道路拡幅工事に関する基本協定書 (H28. 6. 22～R3. 3. 31)

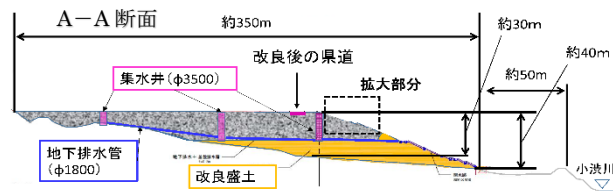
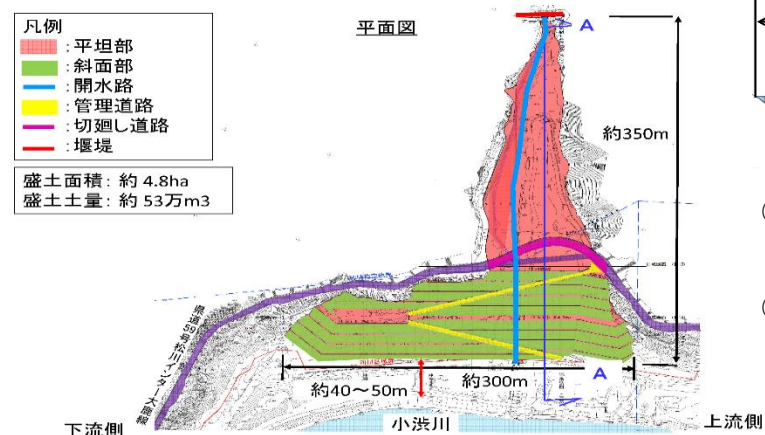
- ・区間 1 : 道路拡幅工 L=295.3m 保安林解除申請 (審査中)
- ・区間 2 : 道路拡幅工 L=118.8m 保安林解除申請 (審査中)
- ・区間 3 : 道路拡幅工 L=168.7m 令和元年 9 月 12 日 保安林解除予定告示
工事発注準備中
- ・区間 4 : 道路拡幅工 L=230.7m 令和元年 9 月 12 日 保安林解除予定告示
工事発注準備中

○その他工事 (R1 施工)

- ・防災工事 : 渡場～西下トンネル区間 全 6 箇所
(内 5 箇所工期 : 令和 2 年 3 月末頃まで (予定))
- ・区画線工事 : 西下トンネル (大鹿村側坑口)



■半の沢道路改良事業の概要について



- 長野県では、JR 東海が半の沢を盛り立てた後に道路改築事業を計画しています。
- 長野県担当者より、計画概要の説明がありました。(図面は検討委員会終了時点のものです)

■小渋線 工事用車両通行台数の実績（8月）について

南アルプス長野工区	12.3台/日
青木川工区	6.7台/日

※工事用車両台数は、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

③ 南アルプストンネル工事について

【小渋川非常口】

- ・令和元年8月23日から先進杭の掘削に着手しました。
- ・大鹿村総合グラウンドは北側部（下流側）の造成が概ね完了しました。

【除山非常口】

- ・斜坑延長（1,850m）の約半分程度の掘削が完了しています。

【釜沢非常口】

- ・行政手続きが完了し、令和元年7月から伐採等の準備工事に着手しました。
- ・発生土置き場（旧荒川荘）の造成が概ね完了し、排水設備等仕上げ工事を行っています。
- ・発生土置き場B（三正坊）は環境保全計画書等の更新を8月2日に行いました。10月から造成工事に着手する予定です。



仮置き場B（三正坊）現況

■南アルプストンネル（長野工区）工事用車両通行台数

	松川インター大鹿線	福德寺 （県道 赤石岳公園線） 除山非常口方面	沢戸橋 （村道 上蔵河原線） 小渋川非常口方面
2019年 5月	11.9台/日	11.0台/日	232.9台/日
6月	12.5台/日	10.0台/日	257.9台/日
7月	9.2台/日	13.8台/日	253.8台/日
8月	12.3台/日	13.9台/日	192.2台/日

※工事用車両台数は、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

■工事用車両迂回路の整備状況等について（現状報告と今後の予定）

○工事用車両の迂回路協議については、9月30日を協議期限として、地権者の皆様と協議を続け、本協議会終了後に最後の地権者様から契約書をいただけることになっています。

○本協議会終了後、契約書いただきましたら、迂回路利用に向けて栈橋①の設置工事及び小渋川左岸側の迂回路整備を進めていく予定です。

※10月1日付け契約締結となりました。



④ 伊那山地トンネル（青木川工区）について

■青木川非常口ヤードの施工状況

- ・現在、ヤード内の既存残土の大鹿村儀内路基盤整備事業への搬出、ヤード外周への仮囲い設置を行っています。
- ・ヤード内既存残土の搬出は11月下旬頃まで行う予定です。
- ・今後、法面工事及びトンネル仮設備の設置を行います。
- ・トンネルの掘削は、既存残土の搬出や道路改良の進捗状況等を勘案し、準備が整い次第着手する予定です。



青木川非常口ヤード

■儀内路基盤整備事業 施工状況



- ・11月下旬頃まで既存残土の受入を行う予定です。
- ・農地に復旧するため、耕土が必要となり、喬木村より耕土を運搬します。
- ・運搬は約20台/日（往復）で、10月下旬から11月下旬までを予定しています。
- ・運搬車両にはステッカー（写真）を貼り、リニア関係の車両であることを明示します。

中央新幹線
喬木村-000

堰下ガイドウェイヤード付帯工事
1工区 工事車両
中川建設(有)

⑤ 鳶ヶ巣沢環境対策事業 技術検討委員会の経過等について

1.事業目的

【事業名】鳶ヶ巣沢環境対策事業

- ・鳶ヶ巣沢最下部に盛土を行い、安定地形にすることにより、鳶ヶ巣沢及び小渋川周辺の景観と環境を保全します。
- ・鳶ヶ巣沢最下部に流路工を整備し、小渋川への土砂の流出を防止します。
- ・小渋川に護岸工を整備し、小渋川左岸の河岸が崩れるのを防止します。
- ・本事業を推進するためリニア発生土を有効活用し、村外へ通行する発生土運搬車の減少により、生活・環境への影響を低減します。

次ページへ続く

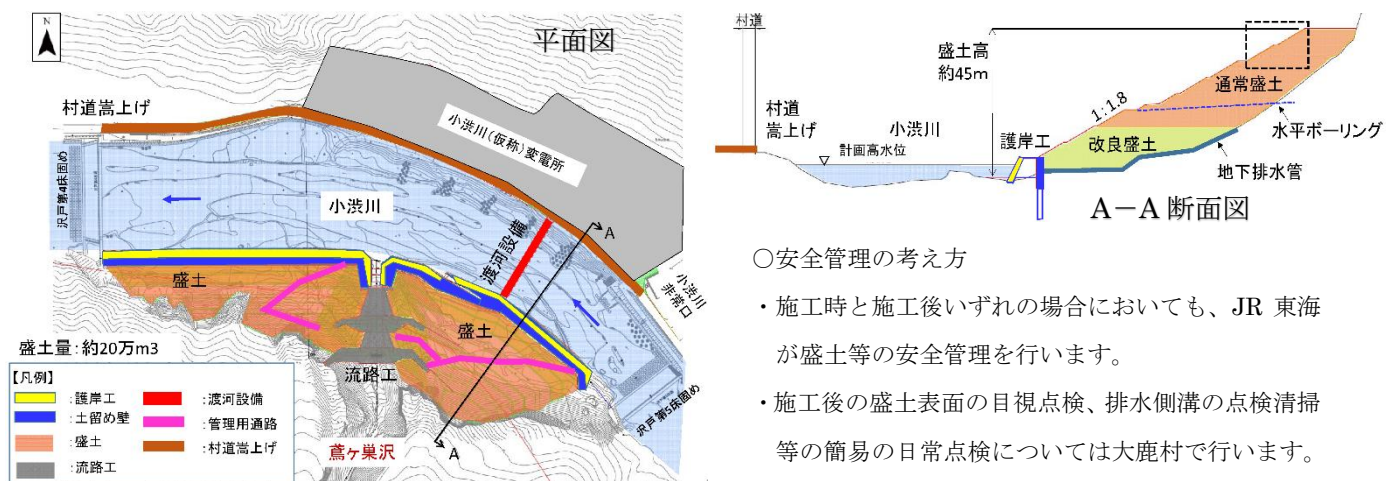
2.技術検討委員会開催の経緯・経過

- ・本事業を進めるにあたり、砂防指定地内における盛土高が15mを超えることから大鹿村として、学識経験者等の照査が必要と判断し、砂防フロンティアへ照査を依頼し、盛土の安定性等について計4回の審議を行っていただき審議が終了しました。

3.今後の予定

- ・砂防フロンティアが検討委員会の意見を踏まえ照査を実施し、大鹿村へ照査結果に関する報告書を提出いただく予定です。

鳶ヶ巣沢計画図



○安全管理の考え方

- ・施工時と施工後いずれの場合においても、JR 東海が盛土等の安全管理を行います。
- ・施工後の盛土表面の目視点検、排水側溝の点検清掃等の簡易の日常点検については大鹿村で行います。

完成予想図



鳶ヶ巣沢の状況



■中部電力による送電線工事について

- ・中部電力担当者より、8月に行われた送電線工事に関する住民説明会の報告がありました。また、送電線工事近傍の住民からの鉄塔位置の変更を求める要望書について、関係者に対して丁寧な対応をしていくとの説明がありました。

○次回（第14回）開催日程等について

- ・次回開催時期を令和元年12月18日（水）、または19日（木）とし閉会しました。